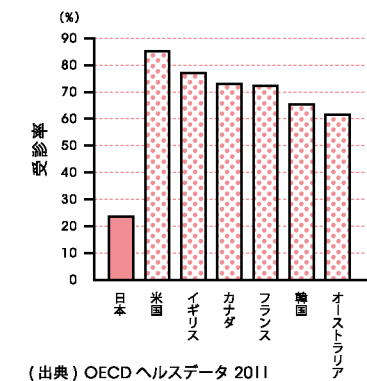
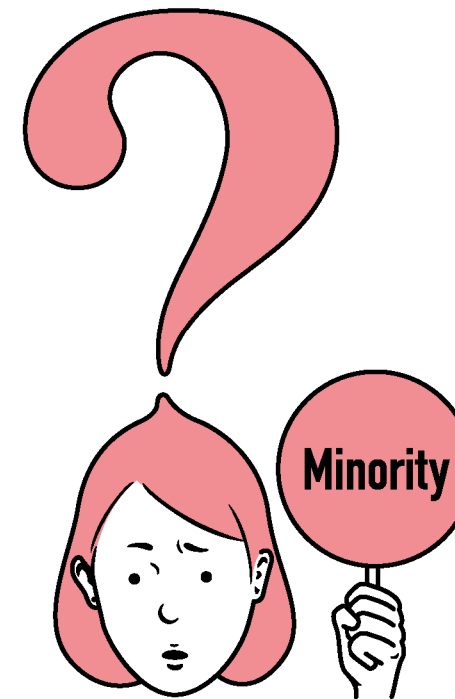
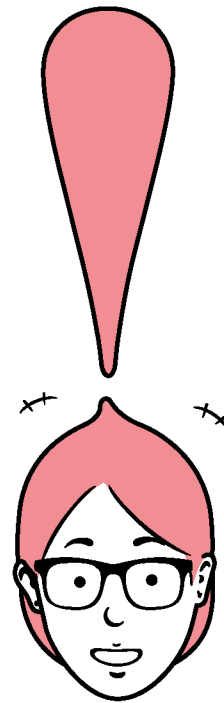
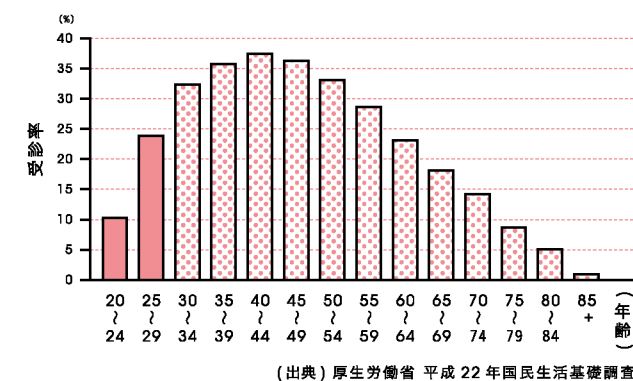


子宮頸がん検診の場合、米国では80%以上の女性が受けているのに、日本では20%程度です。特に、20歳代前半の女性で子宮頸がん検診を受けているのは10%ほどで、極めて低い状況です。子宮頸がんは20代・30代に急増中であるため、このような年代から子宮頸がん検診を受けるべきです。

先進国の子宮頸がん検診受診率



日本人女性における子宮頸がん検診の年齢別受診状況 (過去1年間の受診状況)



20代、30代で子宮頸がんになるのは、少数派なのでは？

子宮頸がんの原因はウイルスの持続的な感染で、若い人に増えています。一般的にがんは、年齢とともに発症数が増えますが、子宮頸がんのピークは30歳代後半です。早期がんでは症状は出ないので、検診が必要です